



VOICE

読者のページ

2024年5月号(52巻5号)へ寄せられた
読者の皆様からのご意見・ご感想を紹介します。

特集

知っておきたい 体型による影響と 解剖学的バリエーション —心電図・超音波検査編—

- S字状中隔の解説が良かったです。よく遭遇しますが、まさしく「いま一つ腑に落ちないまま検査を行って」いました。メカニズムも未解明、ガイドラインも曖昧と知り、施設内で計測方法や判定基準を話し合って共有する必要性を感じました。 **さんきち (山口県)**
- 解剖学的な理解を再確認でき、病理担当者目線でも良い記事だと思いました。特に子宮、乳腺、甲状腺が良かったです。若手の教育にも活用します。 **MT (京都府)**
- 以前から、体型が検査に及ぼす影響や解剖学的バリエーションは知りたいと思っていました。とても参考になりました。 **HY (福岡県)**

MT Seminar

輸血検査精度管理の minimum requirements とは

- 「最低限これだけは！」というポイントがまとまっていて良かったです。業務に活かしていきたいと思います。 **みい太郎 (兵庫県)**
- 当院も限られた設備のなかで輸血を実施しています。輸血実施頻度も低く、精度管理方法について情報が欲しいと思っていました。内部精度管理の実施頻度や方法について見直すべき点があるとわかったので、早速活かしたいと思います。 **HH (兵庫県)**
- 輸血の精度管理は費用面などがなかなか大変ですが、最低限のポイントが押さえられていて、これならできそうだと思う記事でした。 **むー (神奈川県)**

Editorial—今月のことば

ダブルチェックの落とし穴

- 日常的に同じ内容の検査を続けて行う機会も多く、ハッとさせられました。慣れた頃こそ要注意ですね。 **パP (福岡県)**
- 2人でチェックするからダブルチェックというわけではない、と読んだことがあります。まさにその通り。自分を信じることも大切ですが、ときに疑うことも必要だと思い直しました。 **チヒロサン (山口県)**
- 当院でも、インシデントやアクシデントが発生すると、対策としてダブルチェックを用いることが多いです。ただ、それにより無意識の甘えが生じている危険性があることに気づかされました。 **HH (兵庫県)**

基礎講座

聴力検査のマスキング

- 実際に聴力検査でのマスキングについては時々迷うことがあったので、この解説は基礎をあらためて学びたい機会になりました。 **Sara (愛知県)**
- マスキングは理解が難しいと感じていました。取り上げていただけて嬉しかったです。 **梨 (東京都)**
- 両耳間移行減衰量やオーバーマスキングなどは、何となくわかる程度で、誰かに説明できるほどは理解できていなかったで、とても参考になりました。正常から異常まで、結果の解説も取り上げていただきたいです。 **さんきち (山口県)**

ご意見・ご感想は巻末の「ホットラインカード」、またはWebアンケートにてお寄せ下さい。ご投稿をお待ちしています！

